

第1講座

必要な支援を届け、地域に密着した法人を目指す為に

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙

障がい福祉業界の動向を踏まえ、障がい児支援事業参入のための経営指針を解説します。

講演内容 ① 障がい福祉業界動向 ② 近年、保育・教育事業者が障がい児支援に参入している理由
③ 障がい福祉業界の時流から考えられる、“いま、求められている障がい児支援事業”とは



第2講座

特別ゲスト講座 障がい児支援事業参入と運営の「リアル」

社会福祉法人梅花福祉会 園長 小林 崇氏

埼玉県本庄市で認定こども園を運営する社会福祉法人梅花福祉会 園長 小林氏をお招きし、児童発達支援・放課後等デイサービスを立ち上げた経緯や、運営の実例、そして認定こども園との連携による相乗効果について具体的にお話いただきます。



第3講座

現地視察 児童発達支援・放課後等デイサービス

社会福祉法人梅花福祉会 園長 小林 崇氏

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所にて、現場でのプログラムや運営について“直接”見て、聞いて、学んでいただけます。

視察内容 ① 運動学習特化型「うめっコスポート」の視察とプログラム詳細 ② 音楽療法特化型「うめっコスポート」の視察とプログラム詳細 ③ 現場での支援体制・事業所運営について



第4講座

開所から運営まで、児童発達支援・放課後等デイサービス 参入成功のポイント

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 金子 理彩

400事業所以上の児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げ支援実績を誇る船井総合研究所より、事業の開所の流れや準備、利用者募集のポイントについて解説します。

講演内容 ① 何から始めたら良い!?開業までの実施事項チェックリスト解説 ② “新規職員採用”や“既存の園の職員向け研修”の秘訣 ③ 新規問い合わせ数が20名/月を超える集客施策



第5講座

本日のまとめ

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙

本日のセミナーのまとめと実践に移すために考え方とやり方をお伝えします。

講演内容 ① “今すぐ”実践に移すために、経営者に押さえていただきたい考え方 ② 情報を持ち帰るだけではなく具体的に実践するための考え方と方法をご紹介 ③ 今すぐ取るべき戦略を考える ④ 全国のネットワークを駆使し、選ばれる法人を目指す方法

申込期限 **2025年11月7日(金)23:59まで** ※祝日や連休により変動する場合もございます

お申し込み取消時期	取消料
開催日の前日から起算して11日前まで	いただきません
開催日の前日から起算して8～10日前まで	旅行代金の20%
開催日の前日から起算して2～7日前まで	旅行代金の30%
開催日の前日	旅行代金の40%
開催日の当日	旅行代金の50%
ツアー開始後の解散または無連絡不参加	旅行代金の100%

開催4日前までに振込先口座へご入金いただきますようお願い申し上げます。

※ご入金の際は、税込金額でのお振込をお願いいたします。お振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

- 受講料のお振込は、開催4日前までにお願いいたします。
- 会員価格は各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。
- 受講料に含まれないもの: 集合場所までの交通費・懇親会費(ある場合)
- お客様のご都合で、ご参加を中止される場合は、左記の取消料をお支払いいただきます。
- ご参加を取り消される場合は、下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡くださいますようお願いいたします。
- 添乗員は同行いたしません。担当コンサルタントが同行いたします。
- 最少催行人数10名(出発日から5日前までに最低出発人数のご予約がない場合は中止とさせていただきます。)
- 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、ご契約ください。
- 当視察セミナーでは、当社が手配した交通手段以外でのご参加はご遠慮いただいております。

お申込みはこちらからお願いたします

スマホ・タブレットの方は右記のQRコードを読み込んでいただきWeb ページにある申込みフォームよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/133870>

【お問い合わせ】船井総研セミナー事務局 E-mail:seminar271@funaisoken.co.jp

【TEL】0120-964-000(平日9:30～17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください。

旅行企画・実施:東京都知事登録旅行業第2-6793号

株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35階
TEL:03-4356-0271 FAX:03-4546-0271お問い合わせ No.
S133870特別現地
視察セミナーの
ご案内2025年
11/11(火)
12:00～17:30まで
(受付開始:11:30～)

現地視察 セミナー

百聞は一見にしかず!
現地視察だからこそ
分かる
見どころ**5**選見どころ
01保育の「プロ」が実践する
保育ノウハウを活かした
療育プログラムを生で見学できる!見どころ
02在園児・卒園児計30名が
利用こども園との連携体制
の工夫がわかる!見どころ
03認定こども園から
異動した職員のリアルな
本音が聞ける!見どころ
04特性のある児童への
職員の関わり方・支援方法
がわかる!見どころ
05立ち上げ6年!
先進法人のリアルな今を
確認できる!

ゲスト講師

社会福祉法人梅花福祉会
園長 小林 崇氏

こんなお悩みがある方におすすめです

- ▶ 既存園で対応し切れない発達障がい児やグレーゾーンの子供が増えてきた
- ▶ どんなこどもでも受け入れていきたいが、配置できる職員数もあり受け入れに限界がある
- ▶ 集団活動や午睡が苦手な児童があり、他の児童も引っ張られてクラスがまとまらない
- ▶ 発達に凸凹のある子供たちにもっと関わりたい、自分たちでもっと支援をしたい
- ▶ 近隣の療育施設に通う在園児が増えているが、本当は自分たちの法人で支援をしたい

セミナー詳細

金額

一般価格
(1名様)**60,000円**(税込 66,000円)会員価格
(1名様)**48,000円**(税込 52,800円)

集合・解散場所: JR 本庄早稲田駅

集合: 11:30/ 解散: 17:30(予定)

視察会場: 社会福祉法人梅花福祉会コウガの森・梅花(埼玉県本庄市見福1-2-7)

訪問場所: ・運動特化型放課後等デイサービスうめっコスポート ・音楽特化型 放課後等デイサービスうめっこリズム

※尚、中止の際、交通費の払い戻し手数料のお支払いはいたしかねますのでご了承ください。
※本セミナーは、セミナーの特性上、埼玉県本庄市・児玉郡に拠点をある法人様のご参加はお断りさせていただきます。

【現地視察】児童発達支援・放課後等デイサービス 参入セミナー

お問い合わせ No.
S133870

主催

サステナブルグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます (船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に[お問い合わせ No.]を入力してください)

■ご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。

133870



園の「気になる子」、増えてきていませんか？

- ・発達障がいのある子どもが、ひと昔前より増えたように思う
- ・本当はその子に合う支援を提供したいが、今の配置基準では対応に限界がある
- ・可能な限り その子に寄り添った支援を提供しているものの、職員の負担がそろそろ心配である
- ・近隣に児童発達支援に通う児童はいるが、送迎の負担やその支援内容を考えると本当は自分の園でやりたい

皆さまの園でもこのようなお悩みを抱えていらっしゃるいませんか？

これから紹介させていただきます 埼玉県本庄市で認定こども園や放課後児童クラブ、子育て支援センター等を設置・運営する「社会福祉法人 梅花福祉会」様もこれまで上記のようなお悩みを抱えていました。

すでに梅花福祉会様は15年以上インクルーシブ保育への挑戦を続け、達成した経験を幾度となくされておりました。こども園では、困難感を持つお子さんが、「みんなと一緒にが好き」「先生が大好き」「お友達が大好き」

という信頼関係の中、愛情と配慮のある関わりを援けにして、逞しく成長していました。

少子化がますます進み、社会福祉法人としての存在意義が問われ続ける中、地域への一層の貢献を行いたい、地域で頼みにされ続ける社会福祉法人になりたい、そんな決意もあり、令和元年に児童発達支援・放課後等デイサービスを立ち上げました。

本レポートでは、立ち上げの経緯や成功のポイント、そして今取り組んでいることや今後の展望について園長の小林 崇氏にお話をお聞きしました。

児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げで「子育てワンストップサービス」を実現

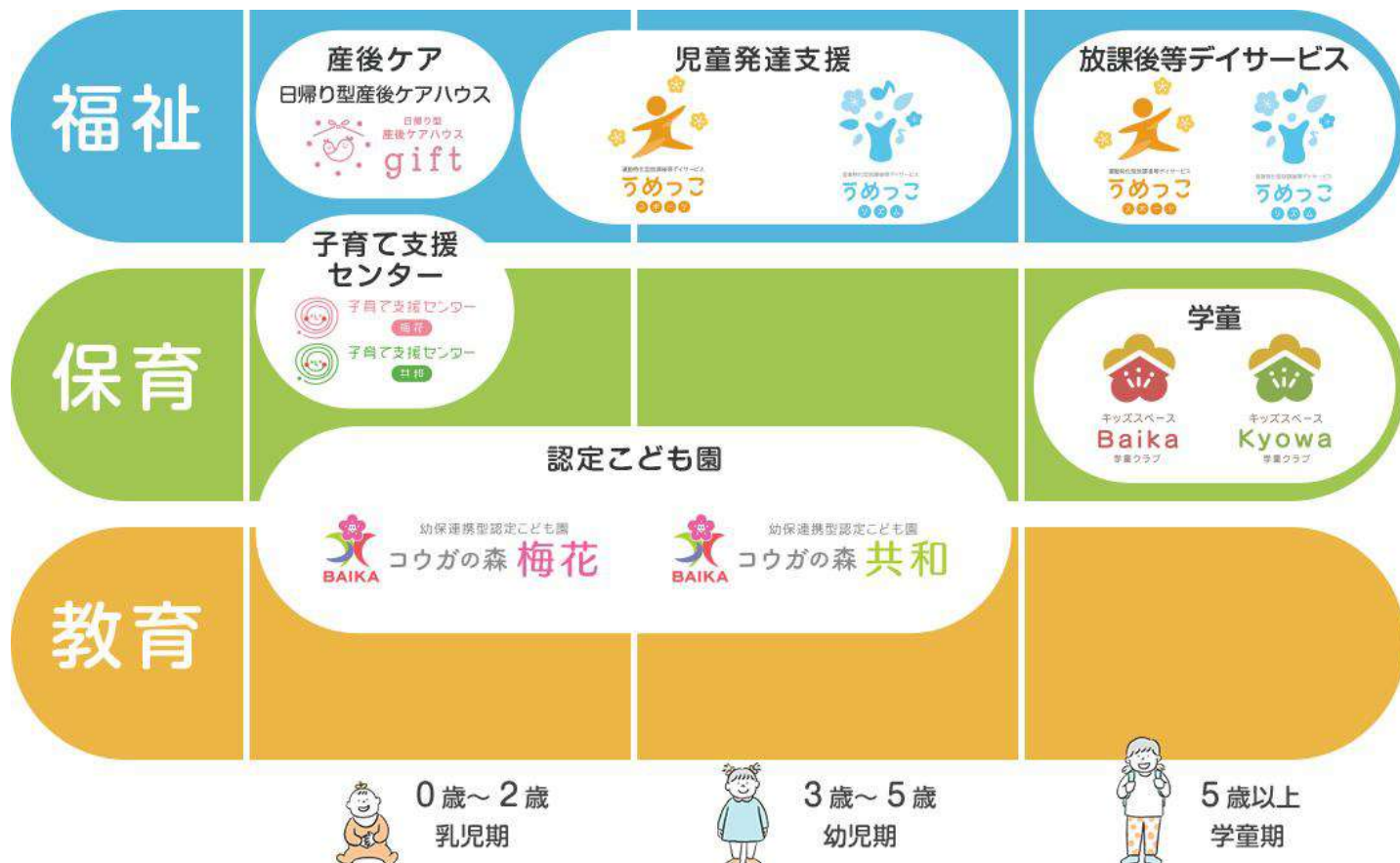
成功モデル法人のご紹介

社会福祉法人 梅花福祉会

社会福祉法人 梅花福祉会は、埼玉県本庄市にて認定こども園、放課後児童クラブ、子育て支援センター、産後ケア、児童発達支援・放課後等デイサービスを設置・運営しています。

「芯の強いこどもを育てる」「ナイチンゲールの看護の精神」の理念のもと、「子育てワンストップサービスの実現」を目指しています。

令和元年に児童発達支援・放課後等デイサービス「うめっこ スポーツ」を立ち上げて以来、延べ130名以上への支援を提供してきており、令和7年9月時点では、契約者のうち29名が梅花福祉会の運営するコウガの森・梅花と共和の在園児及び卒園児です。





社会福祉法人 梅花福祉会 園長 小林 崇 氏

埼玉県本庄市にて 幼保連携型認定こども園、学童クラブ、児童発達支援・放課後等デイサービス等明るくすこやかな保育・教育の場を50年以上提供し続けてきた社会福祉法人の園長。
「芯の強い子どもを育てる」「ナイチンゲールの看護の姿勢に学び健やかな子どもを育てる」を法人理念に掲げ、大切な子どもたちの成長を第一に考えた「本物の保育」、そして働く全ての職員が長く活躍し続けられる組織づくりに力を入れており、保護者・職員の双方から高い満足度を得ている。

法人の将来に対する漠然とした不安感と試行錯誤の日々

当法人は50年以上の歴史がある社会福祉法人ですが、平成24年までは現在の幼保連携型認定こども園 コウガの森・梅花のみの設置・運営でした。私は大学生の頃、「1法人1施設のままだら、法人は継ぎたくない」と当時理事長だった母に話していました。今思うとだいたい生意気な発言だなと思う部分もあるのですが(笑)大学で地域福祉を学んでいたこともあり、この少子化の時代、1法人1施設では経営の存続は難しいだろうという危機感・不安感はずっとありました。

ちょうどそのころ市内の保育園の民営化案件が公募され、無事落札し、今の幼保連携型認定こども園 コウガの森・共和の運営を開始しました。私も大学卒業後入職し、法人を将来継いで行きたいという想いを固めつつも、漠然とした不安感は以前としてありましたが、当初は今のよう「子育てワンストップサービス」といったコンセプトは特別ありませんでした。保育園を幼保連携型の認定こども園に移行したり、平成10年頃から中止していた子育て支援事業を再開したり、色々試行錯誤し続ける日々でした。

地域で頼みにされ続ける社会福祉法人になりたい

私は少子化の影響で梅花福祉会の役割が縮小していくことをずっと心配していました。地域で頼りにされ続ける社会福祉法人になりたい、既存事業と相乗効果のある地域福祉事業をしたい、でも何をすればいいかわからない…そんな折、理事長と参加した株式会社船井総合研究所（以下、船井総研）のセミナーで 児童発達支援・放課後等デイサービスを知りました。

もともと15年以上、園では独自にインクルーシブ保育を実施していましたが、近年 支援の必要な子どもたちが増えており、より手厚い、こどもに寄り添った支援を行いたいと考えていた頃でした。一方で、支援の必要な子どもたちが増える中で、職員の負担も課題となっていました。セミナーで紹介されていた法人さんの見学にも行かせていただき、自分たちの中で「これだ!」と思い立ち上げを決意しました。

運動×学習特化 うめっこスポーツの立ち上げ

本庄市内にある児童発達支援・放課後等デイサービスは、預かりメインの保護者の負担軽減を目的にした事業所が多い印象でした。もちろんそういった事業所も素晴らしいのですが、私たちは幼児教育の専門家として、15年以上インクルーシブ保育を提供し続けてきたプロとして、こどもたちのためになる高付加価値の療育プログラムを提供したいと思いました。そうして立ち上がったのが「うめっこスポーツ」です。

「うめっこスポーツ」は、船井総研の紹介で見学させていただいた事業所様からプログラムの提供を受けました。今でも職員の研修等で大変お世話になっており、定期的に職員や保護者向けにも講演をいただいております。テンポよく切り替えるプログラムで集中力の持続と切り替えに適應する力をつけ、小学校での学習に必要なスキルが習得できる内容です。

SAQ スピードアジリティ・クイックネス

うめっこスポーツの最も特徴的なトレーニングです。全身を大きく使う運動や、動きを組み合わせた運動を取り入れて、汗が出るくらい体を動かすことで、ドーパミンを出すことをねらいとしています。「運動が楽しい!」「はめられてうれしい」と、お子さんのやる気を引き出しながら進めます。

カルタ(百人一首)



札を見つけるために、沢山目を使い、目当ての札を探していくところから始まります。「お友達に勝ちたい!」という気持ちが芽生え、少しずつ上の句を覚えていき、枚数を増やしていくことで、記憶力を鍛えます。

楽しい!できた!を経験する



園の音楽教育や和太鼓活動を活かしたうめっこリズムの立ち上げ

このように立ち上がったうめっこスポーツですが、想像をはるかに上回る反響があり、開校半年で黒字化しました。日々、問い合わせに対応する中でもっと多くのこどもたちに、より質の高い支援を提供できないかと考え、次は「音楽療育」をコンセプトにした児童発達支援・放課後等デイサービスの検討を開始しました。

これまた船井総研さんの紹介で、音楽療育をコンセプトにした児童発達支援・放課後等デイサービスを見学させていただいたのですが、「うめっこスポーツ」での療育活動を通して法人のノウハウがたまりつつあったこと、また元々音楽教育や和太鼓活動は園でも特色としていたことから、認定こども園での音楽教育との整合性も考え、自分たちでオリジナルの療育プログラムを作りました。



児発・放デイの立ち上げが 教育内容の見直しのきっかけにも

オリジナル療育プログラム作りは決して簡単ではありませんでしたが、職員たちと改めて各活動の目的や内容を見直したことが認定こども園の教育・保育の見直しのきっかけにもなりました。

うめっこスポーツでは「運動×学習療育」の脳内の神経伝達物質であるドーパミンとセロトニンを交互に出す、テンポよく切り替えるプログラムで集中力の持続と切り替えに適應できる力を身に付ける、というプログラムを行っていました。これは、認定こども園で大切にしてきた「動」の活動（テンポアップの運動）と「静」の活動（集中して取り組む学習）の組み合わせと同じである、ということに気づいたのです。

保育・教育・療育それぞれに対し法人の考えの共通項が見え、施設を超えた法人内の連帯感もますます高まってきました。

「うめっこ」とクラス担任の 連携を強化

施設を超えた法人内の連帯感が高まる中で、「うめっこ」とクラス担任の連携もますます強まっています。延べ契約者数136名中31名（契約者全体の約2割）がコウガの森・梅花や共和の在園児及び卒園児ですが、特に在園児の様子については園のクラス担任と児童発達管理責任者が密に共有しています。

もちろん法人外の園や学校を利用している児童についても積極的な情報共有や連携は図っていますが、やはり「同僚同士」なので困ったこと、気になったことがあればすぐに連携が取れるというのは法人内ならではの強みだと感じています。

また、発達に関する悩みは非常にデリケートで、在園児でも「うめっこ」を利用できるときっともっと成長できるだろうな、と感じるお子さんがまだまだ利用に繋がっていないケースというのは多々あります。そういった時には日常にお子さんに関わっている園長・担任、そして療育の専門家である児童発達管理責任者・指導が連携し、その家庭やお子さんにあった方法で説得を試みた結果、利用に繋げることができたケースもありました。



児発・放デイの立ち上げで 職員採用にも変化が

児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げをきっかけに法人の採用にも変化が現れ始めました。障がい児支援や少人数制の療育、事業の多角化をしていることで色々なことに挑戦ができそうな環境に興味を持つ職員からの問合せが増え、資格や経歴も多様化していききました。

当法人では平成30年から船井総研さんの採用コンサルも受けているのですが、当初採用コンセプトは「やりがいのある保育を一緒にしませんか」でした。もちろん悪くはないと思うのですが、今思うと少しぼんやりしているように思います。しかし、その後事業展開を経て、梅花福祉会としての事業ビジョンが明確になる中で「認定こども園・学童・発達支援・地域密着 やりたいことを選べる働き方」を採用コンセプトとして打ち出すようになり、ますます出会う人の年齢や経歴、職種が多様になり、幅が広がっていききました。事業の発展と採用の好調が相互に作用していると思います。

施設間交流及び異動を積極的に行い、 施設間の連携を強固に

「うめっこ」をきっかけに採用の問合せ数も増え、出会う人材の幅も広がりましたが、梅花福祉会としては事業の根幹は「認定こども園」にあると思っています。認定こども園が中心にあって、そこから児童発達支援・放課後等デイサービスや学童、子育て支援等多様な支援に繋がっているイメージなので、「うめっこ」希望であってもできるだけ最初は認定こども園で働いてもらい、梅花福祉会で大切にしていることや考え方を理解してもらうようにしています。

また法人では年に1回異動辞令を出しているのですが、その際積極的に認定こども園と児童発達支援・放課後等デイサービスの職員の入れ替えを行っています。「うめっこ」の療育は認定こども園での保育・教育がベースとなっているので、異動に対する抵抗はあまり感じていません。むしろ、「うめっこ」であれば小学生まで支援することができるので、卒園児として見送った児童に再度関わるきっかけにもなったり、職員にとっても大きなやりがいに繋がっているように思います。

「〇〇園の職員」ではなく、「梅花福祉会の職員」という帰属意識を持つことで、施設間の連携はより強固になると感じていますし、法人内の相乗効果がますます生まれやすくなっていると感じています。

今後の展望

ここ数年で梅花福祉会が地域で果たす役割は大きくなってきたと感じつつも、「子育てワンストップサービスの実現」としてはまだまだ道半ばだと思っていますので、引き続き色々なことにチャレンジしていききたいと思っています。

その一つが令和6年4月から開始した「産後ケア事業」です。もともと子育て支援センターで未就園児とその保護者に対する支援は行っていましたが、もっと産後のお母さんとこどもに寄り添った支援を提供したいと考え、今年4月に市の委託事業として開始しました。

船井総研さんの研究会での講演をきっかけに事業に興味を持ち、令和5年12月に市に相談してなんと半年足らずでスピード開所に繋がったわけなのですが、これも認定こども園や児童発達支援・放課後等デイサービスを通して行政との連携を強固にしてきたからこそ、法人としての想いや意図が伝わり、市と連携して進めることができたのかなと感じています。

また 支援が必要なお子さんを適切な支援に繋げる相談支援事業や、今国でも関心の高まっているこども誰でも通園制度等 興味のある事業はたくさんあります。これまでも地域の声に耳を傾けながら、地域福祉の充実につとめてまいりました。これからも地域ニーズを的確にとらえ、展開していききたいです。



梅花福祉会の「先生」に聞く！ 認定こども園との違いや発達支援事業のリアル

担当コンサルタント 解説

社会福祉法人梅花福祉会は、50年以上にわたり本庄市で「芯の強い子どもを育てる」という理念を掲げ、地域に根差した子育て支援を続けてきました。産後ケア、認定こども園、学童クラブ、発達支援と、切れ目のないワンストップの体制を整え、多様なニーズに応えながら、地域から信頼される存在へと成長しています。

このたび、認定こども園から発達支援部門へと異動された職員さんにお話を伺いました。「実際に異動してみての率直な感想」や「新しい環境で感じた苦労」、そして「これまでの経験をどのように活かされたのか」。そのリアルな声から、梅花福祉会が大切にしている文化や人を育てる力が見えてきます。



運動学習特化型放課後等デイサービス うめっこスポーツ管理者

平成30年入社 認定こども園の経験を経てうめっこスポーツへ異動。

「子どもの小さな成長と一緒に喜べるのがやりがいです」

私が梅花福祉会に入職した年に、ちょうど「うめっこスポーツ」が開設しました。認定こども園で担当していたこどもたちが、うめっこスポーツやうめっこリズムに通っており、その姿を通じて私自身も内容を知ることができました。その後、「認定こども園での経験を活かしながら、うめっこで働いてみないか」と声をかけていただき、発達支援部門に異動することになりました。

うめっこスポーツ・うめっこリズムは少人数かつ短時間の支援であることが、認定こども園との一番の違いだと感じています。少人数だからこそ、こども一人ひとりと深く関わることができる一方で、一人の気持ちの浮き沈みが全体に影響する難しさもあります。しかしその分、こどもや保護者と密接に関わることができ、日々の成長と一緒に喜べることにやりがいを感じています。

また、認定こども園の職員から「うめっこの利用をおすすめする」という流れも多く、園と発達支援部門の連携は日常的に行われています。年4回の連携会議では、アンケートをもとにこどもの困りごとや成長を共有し、保護者・園・うめっこの三者でこどもを支える体制を整えています。認定こども園に所属していた時は主任や主幹と一緒に保護者面談を行うことが多かったのに対し、うめっこでは保護者と1対1で深く話す機会が増えました。言葉の一つひとつが保護者に直接届くため、発言の重みを感じ、自分の行動や言葉をより意識するようになりました。

職員のバックグラウンドは様々で、保育士としての経験がある職員もいれば、別の視点からこどもを支える職員もいます。その多様性から学ぶことも多く、同じ目標に向かって意見を出し合える環境は、梅花福祉会ならではの強みだと感じています。



音楽特化型放課後等デイサービス うめっこリズム管理者

令和2年入社 認定こども園の経験を経てうめっこスポーツへ異動。

「これまでの経験を活かしながら、新しい学びに挑戦しています」

私は「うめっこスポーツ」を通じて梅花福祉会を知り、認定こども園に入職しました。うめっこリズムの開設に合わせて「一緒にやってみないか」と声をかけていただき、発達支援部門に異動しました。

発達支援の現場は専門性が高く、認定こども園でのこどもとの関わり方とは大きく違う部分があり、最初は戸惑いもありました。例えば、支援計画に基づいて一人ひとりの課題や目標を意識しながら関わる点は、園での集団保育とは全く感覚が異なります。はじめは「自分の関わり方をどう変えたらいいのか」と悩むこともありましたが、先輩方にアドバイスをいただきながら経験を積み重ね、次第に自分なりの支援スタイルを築くことができました。こどもの変化や成長を日々間近で感じられることは、何よりのやりがいです。できなかったことが少しずつできるようになる姿や、表情が明るくなっていく瞬間に立ち会えるのは、本当に特別な経験です。また、自分の関わり方や言葉がその子の成長に直接つながっていくと実感できるのも、この仕事ならではの喜びだと思います。

管理者という立場になってからは、職員一人ひとりが安心して働ける雰囲気づくりも意識しています。自分がやりたいと思う取り組みを形にできる環境をいただけているのは大変ありがたいと、職員と一緒に「どうしたらもっと良い支援ができるか」を考えながら日々取り組んでいます。保育士としての経験は「信頼関係を築く力」としてうめっこでも活かしていると思います。小学生との関わりでは一定の距離感も必要ですが、愛着関係を大切に作る姿勢は変わりません。母となってからはこどもに向き合う気持ちがさらに深まり、家庭と支援をどうつなげていくかという視点も持てるようになりました。

保育園・認定こども園・幼稚園が 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に 参入するValue＝価値とは

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 金子 理彩

大学を卒業後、船井総合研究所に入社。障がい福祉業界にて障がい児通所支援事業の新規開発及び活性化コンサルティングを行う。主に放課後等デイサービス・児童発達支援の業態展開・業績UPを担当し、現場に入り込んだサポートを得意とする。



皆さま、こんにちは！

本レポートをここまでお読み頂き、誠にありがとうございました。

私、株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダーの金子 理彩と申します。

現在携わっている**保育園・認定こども園・幼稚園は500施設以上、児童発達支援・放課後等デイサービスは30施設以上**で、その他 市区町村の「子ども・子育て支援事業計画」の策定支援等も担当させて頂いております。今回 インタビューさせて頂いた社会福祉法人梅花福祉会の児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げも弊社でご支援させていただきました。

今、発達障がい児やグレーゾーンのこども（気になる子）が増えてきており、その支援について悩んでいる事業者様がとても多いように思います。よくお聞きするお悩みは次の通りです。

- ・発達障がい児や、グレーゾーンのこども（気になる子）が増えてきた
- ・どんなこどもも受け入れていきたいが、配置できる職員数の都合上 受け入れに限界がある
- ・集団活動や午睡が苦手な児童がおり、他の児童も引っ張られてクラスがまとまらない
- ・近隣に児童発達支援や放課後等デイサービスは増えたが、本当は自分たちで支援をしたい

これらの悩みを今の保育園・認定こども園・幼稚園だけで解決しようと思っても、人手や資金の都合もあり、なかなか難しいことが多いです。そこでご提案させて頂きたいのが、社会福祉法人梅花福祉会も立ち上げられた「**児童発達支援・放課後等デイサービス**」への参入です。

児童発達支援・放課後等デイサービスとは？

児童発達支援は主に**未就学児**、放課後等デイサービスは**小学生～高校生（18歳未満）**を対象にした集団及び個別療育を行う**障がい福祉サービス**の一つです。

< 船井総合研究所が推奨する 児童発達支援・放課後等デイサービス事業モデル >

	児童発達支援	放課後等デイサービス
対象	未就学児（0歳児～5歳児）	小学生～高校生
定員	計 10名	
開所時間	10:00～17:00 （サービス提供時間は6時間以上）	学校がある日：放課後～18:00 学校がない日：10:00～17:00
開所曜日	月曜～土曜 （地域ニーズや利用ニーズによる、週5日開所や週7日開所の場合も）	
必要人員	最低 3名	
必要面積	60㎡以上（建物や地域による）	
年間売上	3,600万円	
年間営業利益	900万円	

増える発達障がい児と、障がい福祉サービスの利用者

発達障がいの可能性があり特別な支援が必要な小中学生は通常の学級に8.8%、つまり11人に1人程度在籍していると推計されています。
文部科学省の前回10年前の調査から6.5%増加しており、支援の充実が課題となっています。

質問項目に対して学級担任等が回答した内容から、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合＜小学校・中学校＞

	推定値（95%信頼区間）
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8%（8.4%～9.3%）
学習面で著しい困難を示す	6.5%（6.1%～6.9%）
行動面で著しい困難を示す	4.7%（4.4%～5.0%）
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3%（2.1%～2.6%）

出典：文部科学省

黒板が書き写せない

忘れ物が多い

数が数えられない

文字が読めない

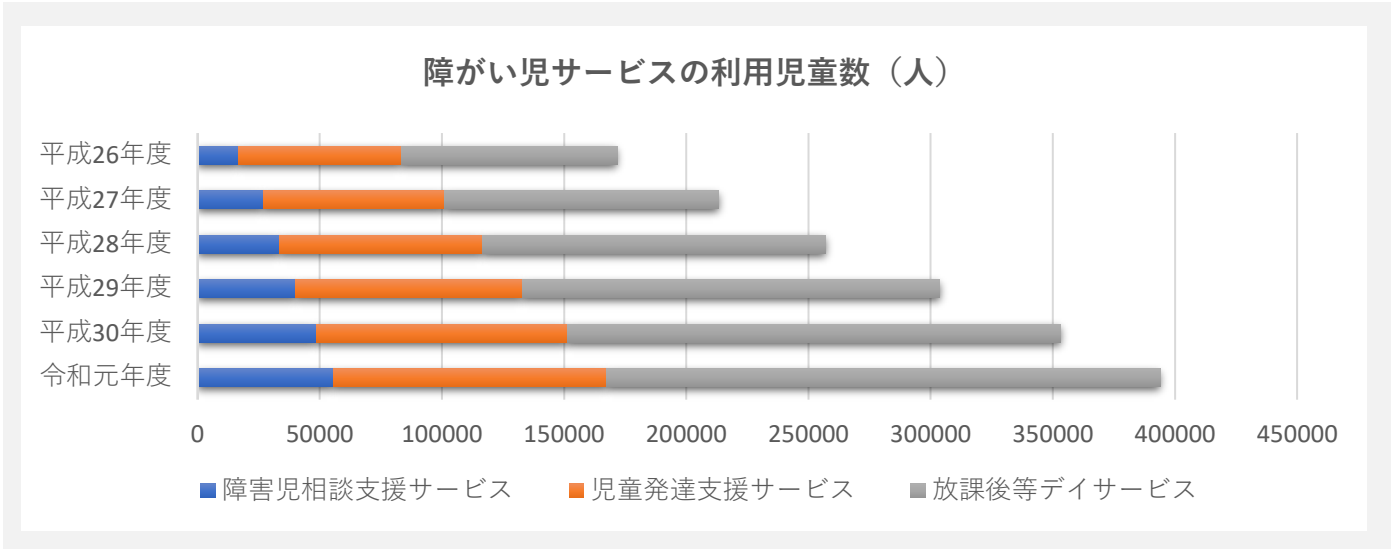
授業中歩き回る

机をがたがたする

指示を理解できない

一人でいることが多い

発達障がいの認知度や理解も徐々に広まり、障がい児サービスの利用者も増加傾向ですが、一方で 令和元年度でも 全児童に対して 1.7%しか利用しておりません。発生頻度等を踏まえると **まだまだ適切なサービスを受けることができずに困っている保護者やこどもが多くいる**ことが予想されます。



出典：厚生労働省

発達障がいは、発達の仕方に生まれつき凸凹がある障がいです。
一人ひとりの特性に応じた理解や支援により、その凸凹は その子ならではの個性となります。

一方で、正しい理解や支援がないままだと困難感を抱えたまま成長し、例えば 知的に遅れがあるわけでもなくとも勉強についていくことができなくなったり、何度も叱られることで 自己肯定感が下がってしまったり、相手の感情が理解できないことで いじめる側になったり、逆に いじめられる側になったりと、二次障がい（うつ、不安障がい、引きこもり等）に繋がりがかねません。

そういった点でも早期の支援は非常に重要であり、発達障がいの傾向が出やすいと言われる3歳児前後に日常的に関わっている保育園・認定こども園・幼稚園の皆さまの役割というのは非常に大きいと言えます。

保育園・認定こども園・幼稚園が 児童発達支援・放課後等デイサービスを始める意義

保育園・認定こども園・幼稚園を設置・運営する皆さまが、児童発達支援・放課後等デイサービスを開始する意義について次のように考えております。
こどもにとっても、保護者にとっても、職員にとってもまさに「三方良し」の事業です。



実質的に1：1の個別支援が可能

児童発達支援・放課後等デイサービスの定員は10名で、例えば1日のうち療育時間を分けて、1コマあたりの利用者は1～3名等とすることも可能です。職員は児童発達管理責任者を含めて最低3名、加算を取得する場合は追加で2名ほど配置することが可能ですので、実質的に1：1の個別支援を実現することができます。

園と連携したスケジュールが組める

午前の集団活動の時間や、午睡の時間（発達障がいのお子さんは午睡が苦手だったり、給食後興奮状態になったりすることも多い）に児童発達支援で療育を行い、昼食や午睡、自由遊びはクラスのお友達と過ごすことでお友達との時間も大切にしながら、その子に合った追加支援を提供することも可能です。



職員の業務負担軽減に繋がる

その子に合った支援を提供したいと思っても、3歳児クラス 20:1、4・5歳児クラス 30:1の配置基準では現実的に難しいことが多いです。児童発達支援で療育を受けることでその時間その子に合った支援を提供できるだけでなく、クラス運営の負担も軽減される他、療育の効果が出てくることで集団の中でも落ち着いて過ごしやすくなっていきます。

園の特色を活かしたプログラムを提供できる

貴園の保育・教育理念や方針に則った保育・教育プログラムを、児童発達支援ガイドラインに則って再設計することで、園の特徴・特色を活かした保育・教育プログラムを提供できます（弊社から紹介させて頂く外部プログラムを導入いただくことも可能です）。



共働きのご家庭でも利用しやすい

園内や園の近くで実施する場合は車で送迎は不要ですし、少し離れた場所に事業所がある場合も事業所による送迎（普通自動車等を用いることが多いです）ができれば、保護者は生活リズムをそのままにこどもに必要な支援を受けさせることができます。仕事の都合でこどもに療育を受けさせられない、又はこどもの療育の都合で仕事を制限せざるをえない、そういった課題を解決することが可能です。

キャリアの多様化で採用や定着にも効果大

児童発達支援・放課後等デイサービスの管理者や児童発達管理責任者、指導員等の新たなキャリアステップを提供することが可能です。またこれまでの採用活動では出会えなかった人材と出会い、法人が活性化する効果も期待できます（また近年「こども主体」の保育が注目される中、一人ひとりに合った支援の提供は、視座の高い職員からも注目されやすくなります）。



卒園後も支援を継続できる

発達障がい児やグレーゾーンのこどもは、小学校以降で困難感が強まる傾向にあると言われていますが、本園を卒園した後も放課後等デイサービスを通して支援を提供し続けることができます。またその療育効果を確認することで、幼児期にこういった取り組みが有効なのかを振り返ることもでき、園の保育・教育の質向上も期待できます。



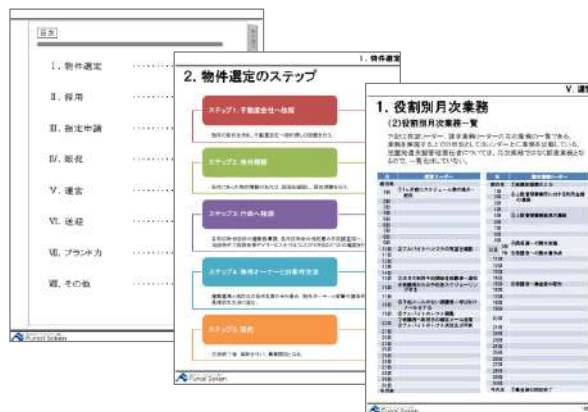
セミナー会場限定！申請や集客、採用に使っているツール類を大公開

指定申請に必要な書類

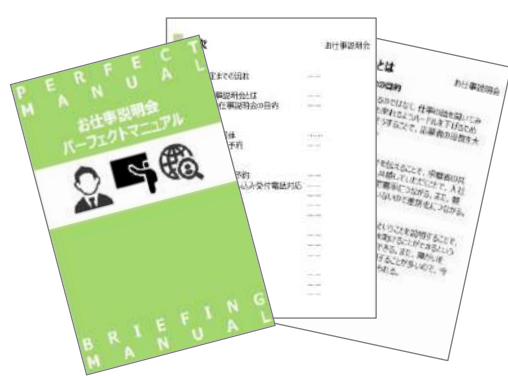
契約に必要な書類



初めての障がい福祉サービスも安心！
障がい福祉サービス重要語彙集



運営の流れがわかる！運営手引書



自事業所に合う人材を採用する
お仕事説明会マニュアル



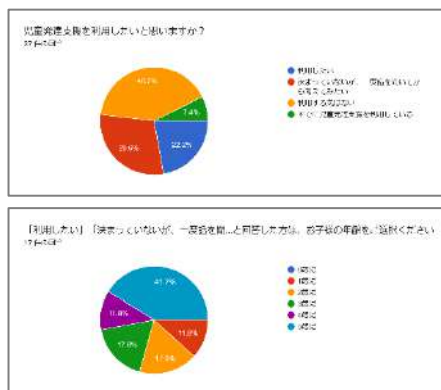
自事業所に合う人材を集める
お仕事説明会チラシ



SNS経由での採用活動に使う
広告画像・動画



特色を簡潔にわかりやすく
まとめた三つ折りパンフレット



開所前に在園児保護者に実施する
利用ニーズ調査



開所時の保護者向け説明会
チラシ

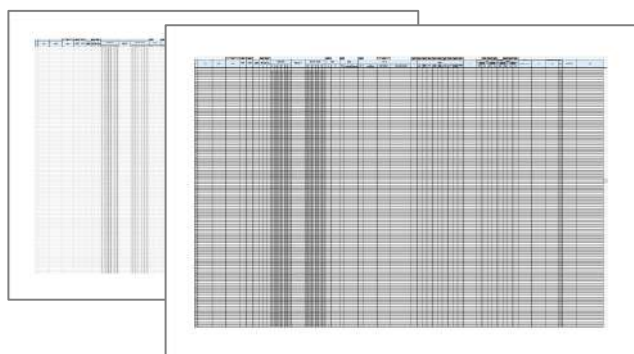
セミナー会場限定！申請や集客、採用に使っているツール類を大公開



訪問先管理や会話内容までカバー 広報活動管理シート

日	時間	場所	内容	担当者
1	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
2	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
3	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
4	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
5	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
6	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
7	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
8	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
9	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
10	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
11	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
12	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
13	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
14	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
15	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
16	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
17	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
18	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
19	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
20	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
21	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
22	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
23	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
24	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎
25	10:00	1F 会議室	受付・受付・受付	山田太郎

設備整理の不安を解消 開所時 設備チェックシート



来ていただいた方を大事に 問い合わせ管理シート



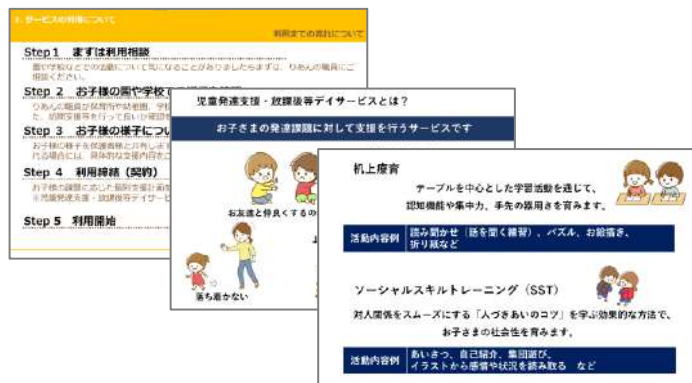
初めてのことも安心！ 各種業務マニュアル



興味を持っていた方との連絡ツール 公式LINE



保護者や関係機関に 知ってもらう・来てもらうためのイベントチラシ



説明会時に使用する 保護者向けのプレゼン資料

事業所のことを知ってもらう Instagram 投稿案

社会福祉法人梅花福祉会の取り組みを「生」で見れる！ 特別・現地視察セミナーのご案内

視察セミナーでは**実際に何を見る/聞く**ことができるの？

① 社会福祉法人梅花福祉会の発達支援事業 「これまで」と「これから」

- 立ち上げ前の課題や悩みと、立ち上げの経緯
- 認定こども園との連携方法
- 児童発達支援・放課後等デイサービス事業の仕組みと制度
- 必要な職員数と採用手法
- 保護者からの反響
- 在園児保護者にアプローチするための施策

② 運動療育・音楽療育のプログラム詳細

- 運動療育・音楽療育を行う上で必要な設備・備品
- 1日の療育の流れ
- 職員による指導方法
- プログラムの決定方法
- レイアウトイメージ

③ 保育園・認定こども園・幼稚園から 参入するメリットと、運営上の違い

- 各業界トレンドの整理
- 認定こども園との運営の違い
- 保護者に「選ばれる」ための取り組み
- 事業者が実際に感じた、児童発達支援・放課後等デイサービス参入のメリット

④ 認定こども園から異動してきた職員の本音 【特別対談講座あり】

- 認定こども園から、児童発達支援・放課後等デイサービス事業に異動してきた経緯
- 実際に異動して大変だったこと、これまでの経験が活かされたこと
- 児童・保護者への関わり方の違い
- 認定こども園職員との連携会議の頻度・内容

過去、児童発達支援・放課後等デイサービス視察セミナーご参加者様の声

【1】視察だからこそ、実際に子どもたちの様子や表情なども合わせてみる事ができました

具体的に学べたのでとてもよかった。ただやみくもにやるのではなく、しっかりと計画を立てて運動にも特化されていてすばらしいなと思いました。

中々、施設の中に入って見学する機会がない中、ありがとうございました。実際に子どもたちの様子や表情なども合わせてみる事ができ、大変勉強になりました。

【2】今後の展望を考える上で大変参考になりました

座学・現地視察においてとにかくすべてが参考になりました。

人口減少地域での将来的展望を図るうえでとても勉強になりました。成長法人・企業の取り組みを聞くことができてとても刺激になりました。

視察セミナー当日のスケジュール

集合・解散場所：JR本庄早稻田駅 東京駅から約50分と日帰り参加も可能！

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 11:30 ~ 12:00 | 受付 |
| 12:00 ~ 12:30 | 移動（本庄早稻田駅→会場 ※バス移動） |
| 12:30 ~ 12:40 | 第一講座 |
| 12:40 ~ 13:55 | 第二講座 |
| 13:55 ~ 15:25 | 第三講座 うめっこリズム・うめっこスポーツ視察 |
| 15:25 ~ 16:25 | 第四講座 |
| 16:25 ~ 16:45 | 第五講座 |
| 16:45 ~ 17:30 | 移動（会場→本庄早稻田駅 ※バス移動）・解散 |